

はじめに

私はMRIの画像を見るようになってから、かれこれ30年になります。が、いまだにMRIは難しいなと思っています。あまりの難しさゆえに、最近では完全にブラックボックス化してなんだかよくわからないけど磁石を使っていろんな画像がとれるのが、MRIだと思っている人が大部分だと思います。おそらく、日常臨床においてはそれでも何とかなんとはいえますが、ちょっとMRIをかじるとたちまち壁にぶつかります。MRIはCTと違って画像にさまざまなファクターが絡んできます。だから逆にいろいろのことがわかるのですが、出てきた画像をどう解釈するか悩むことも少なくありません。

MRIが世のなかに出たころはみんな必死で勉強していましたが、MRIの進歩は早く、なかなかついていけません。勉強しようにも世のなかにはMRIの基本的なことを丁寧に説明してある本はなく、みんななかなかスタートが切れないでいるようです。

そんな中、本書はこれからMRIを勉強しようという人のために、数学も物理も苦手な臨床医がテーマをMRIの基礎に絞って書いた本です。できるだけ図解し、何度も何度も推敲を重ね、わかりやすい表現にしたつもりです。おそらく世界で一番わかりやすいMRIの本ではないかと思います。しかし、同時にMRIの本質にもかなり深いところまで迫っているのではないかとも思っています。MRIを読影する人あるいは機器を操作する人、あるいはもう一度基礎からMRIを見つめ直したい人など、一人でも多くの人にMRIをより理解してほしい、そんな思いで本書を執筆しました。本書を読めばMRIの解釈の幅が格段に広がることを請け負います。

最後に、何度も何度も原稿を読んでいただいて、最後には誰よりもMRIをわかるようになられた編集者の庄子美紀さん、ゲラを読んでいろいろと意見をくれた熊本大学の若手医師の皆さん、愉快的な挿絵を書いてくれたメディカルアーツ代表 橋本ユリコ氏に心より感謝を申し上げます。

2018年3月

山下康行